

日本災害看護学会令和6年能登半島地震災害看護プロジェクト活動報告書

報告年月日：2024年8月9日（金）

実働部隊：紫 宇代

1. 活動期間

2024年8月6日（火）8：30～2024年8月8日（木）17：00

2. 活動場所

仮設住宅：正院町第一団地集会場：石川県珠洲市正院町 1-39

：宝立町第一団地集会場：石川県珠洲市宝立鶴飼丑部 83

：折戸団地巡回訪問

：大谷小中学校避難所訪問

3. 石川県珠洲市の被害状況（8月8日：午後14時 石川県県庁及びNHKの報告による）

石川県住宅被害 58855 棟（珠洲市全開 3464 棟・半壊 2090 棟・一部損壊 2762 棟

石川県の避難者数 13518 人（珠洲市 1375 人・45 箇所）

死者数 318 人・行方不明 3 人・（内：災害関連死 89 人：申請中 21 人）

4. 訪問した仮設：日置・折戸団地巡回（ささえ愛センター職員 2 名と同伴）

5. 支援活動の活動スケジュールはファイル参照（網木先生掲載分）

8月6日(火曜日)

【正院町第一集会場にてお茶会「金沢芸術劇団】9：00～12：00

本日、金沢芸術劇団の催しあり。近隣の住民は 14 名の参加となった。現地リーダーの方に伺いながら準備し、10時20分ごろから絵本専門師の読み聞かせと、俳優の落語が実施された。

絵本に関しては、子供が読むものと思いがちであるが専門師のお話では、大人も同様に楽しむことができるのでこれからも読み聞かせを聞いていくと良いとのこと。落語では冗談を交えながら、また、珠洲の内容を盛り込み、皆さん笑顔で聞かれていた。その後のお茶会でも、絵本や落語を話題に団らんし、次回の催しについて計画を練ったり、要望などを話し合った。様々な外部のボランティアにより住民さんの娯楽や余暇が増えることによりイベントを楽しみにしている様子が伺えた。

【日置・折戸団地仮設住宅の巡回】13：00～15：00

実際は、仮設住宅の入居から 1 週間程度でささえ愛からの訪問を行うが、住民と訪問側のタイミングが合わず、本日、初回の訪問となる。今回の目的は「困りごと」の確認であり、3人1組（3班）に分かれ巡回訪問を行った。

9軒の仮設を訪問するが不在が3軒であった。訪問時の質問で「生活でなんか困ったことはないか？」の問いに「電化製品の使い方がわからなかった」「近所の若いものに教えてもらった」「病院はバスで行っているけど時間はかかる」「配られる弁当が嫌で、残った納屋でご飯を炊いて納豆、毎日食べてる」など、仮設での個々の暮らしについて話されていた。折戸団地は日置ハウスの更に上に位置し、場所も高台になる為、交通の便について課題となっている。移動販売車が毎日来るなど、車を持たない高齢者にとっては便利である一方、団地内での交流が希薄で「あんまり誰ともしゃべることがない」「話すことを忘れる」との声もあり、コミュニティの交流についても介入を検討し、巡回訪問だけでなく祭りやイベントなどを企画していく必要があると考える。

【早稲田大学平リングに参加】15：00～16：30

「珠洲市の可能性」をテーマに復興支援などに参入している関連団体への「連携」についてのヒヤリング
【珠洲市復興計画：正院小学校体育館】 18：00～20：00

市長を主に、次世代に引き継ぐ復興を目指し、地域の皆さんとともに考えるまちづくりについての意見交換会が行われた。「珠洲市復興計画(案)」の資料を基に行われ、住民の思いを傾聴した。今起きている問題や課題について活発な意見があがっていた。特に、住宅に関連する意見や質問が多く、配布された資料での説明がなされていた。

【ミッション終了】

正院保育所に戻り、記録・雑味・kintone 入力・準備などを行う。

8月7日（水曜日）

【「ナツ学：正院町第一集会場】 8：30～12：30

→小学生を対象にした「夏学」を実施。1時間集中して宿題を行う。わからないところが早稲田大学の学生によって教えてもらう。その後、絵本の読み聞かせを聞く。

【正院第一団地集会場にて消防による熱中症の講話・熱中症クイズ】 10：00～12：00

10：00からの「お茶会」に夏学の子どもたちも参加。前半の30分は珠洲市消防士より火災・消火器・熱中症の講話。10：40分頃から、熱中症クイズを実施。学生1・子供1・住民1の3人・1組の編成したチームでクイズの答えを考える。順番に○か×のポーズで回答する。正解者同士でジャンケンし、勝ち残ったら冷却グッズをプレゼントした。（かなり盛り上がった）

住民は地域の子供たちや大学生との交流、会話を楽しみながら参加していた。11：10から「元パティシエが教える5分でできるチョコバナナアイス」を調理。チーム編成はそのまま、住民と子供たちの分を各自で調理。学生もサポートする形で参加して頂いた。

16時頃、お茶会に参加した子供と家族に遭遇した。子供の口から「アイス凍らせて食べたよ。めっちゃ美味しかったよ」との声が聞かれた。

現地リーダーの協力を頂きながら、学生10人・教員2人・学童11人・教員2人・住民16人と大勢の参加の中、事故もなく、人との関りを持ちながら楽しいひと時を過ごされていた。

【宝立町第一団地集会場】 13：00～14：45

13：00～宝立第一集会場にて「健康体操」（増進センターのオクサさん実施）に11人の参加があった。その後13：45から受け継ぎ「睡眠のお話」の紙芝居を実施。震災から8か月経過し、ぐっすり眠れていない住民もおられる。短時間のお昼寝はかえってリフレッシュすることを伝え、睡眠不足が継続するようなら、声をかけてくださいと伝えた（医療的な介入を伝える）。14：00～「元パティシエが教える5分でできるチョコバナナアイス」を調理した。参加された方々は皆楽しんで調理されていた。糖尿病を持つ方には砂糖を減量し対応し、食べるタイミングや量に関しては自己コントロールして頂くように声掛けした。

片付け・終了・鍵の返却・本部に挨拶

8月8日（木曜日）最終日

7：00～正院保育園の事務室及びビトレラートイレの清掃・片付け・点検

8：30～ささえ愛センターMTG参加

9：30～正院町第一団地集会場にて「お茶会」の準備（現地リーダー・区長と一緒に）

9：45～お茶会の準備を始めたが、正院公民館でクラシックコンサートがあるとのことで、区長・現地

リーダーと相談し、本日のお茶会での「睡眠のお話とクイズ・ゲーム」は延期とし、夏学の子供たち、住民の方と共に公民館に移動する。

10：15～「クラシック・ミニコンサート」ヴァイオリニスト：トロイ・グーキンズ氏・ピアニスト・徳力清香さんが奏でる10曲の演奏が行われた。合間におしゃべりやパフォーマンスも含まれ、楽しいひと時を過ごされていた。懐かしい昭和の曲では参加された方々が一緒に歌いながら、時には涙を流される姿が見られた。

11：50頃、解散となり、夏学の子供たちは集会所に戻り北陸学院の学生ボランティアのイベントに参加した。

12：00：区長・現地リーダーにご挨拶を終え、ミッション終了・その後休憩をとり、13：00～大谷小中学校へ巡回訪問（川端本部長は会議の為不在・避難所には3名の方がおられ、Mさんや消防の方とお話しする）。運動場では2階建ての仮設住宅の建設が進んでいた（写真参照）

15：35～珠洲市へ戻る（記録の記載開始）

17：00～正院保育所の玄関の鍵をかけ、帰路へ（珠洲よりoutし福井へ）

【所感】

イベントを開催することにより、子供や高齢者、地域の住民の方々との交流が深まり、少しでも笑顔が見られる点においてはコミットする意味があると考えます。しかしながら、未だ解体されていない家屋や震災後何も変わっていない箇所などがあり多くの課題を抱えている。仮設へ入居したものの独居の住民さんは「話す事忘れてしまう」や「誰とも話さない時間が長い」などコミュニティでの交流の薄さが増大していると推測する。8月現在の猛暑の中、クーラーをかけずに室内で過ごされている高齢者が実在しており、イベントでの交流や拡充を図ることに並行して在宅訪問の重要性を感じた。

イベント



大谷小中学校運動場の建設中の仮設住宅

コンサート

